

2008年11月10日
NPO 知的資源イニシアティブ

関係各位

Library of the Year 2008 優秀賞の決定および最終選考について

「Library of the Year(ライブラリー・オブ・ザ・イヤー)大賞・優秀賞」は、これからの日本の公共図書館その他情報文化施設のあり方を示唆する、先進的な活動を行っている機関(図書館に限らない)に対して、特定非営利活動法人 知的資源イニシアティブ(略称 IRI) (代表理事:高山正也慶応義塾大学名誉教授)が毎年授与する賞です。今年が第3回となります。

2008 年は、第一次選考に残った 13 施設・団体・サービスの中から、下記の 4 機関・サービスが優秀賞に選ばれ、大賞の最終選考対象となりました。

※ 今回は図書館ではない、書店・プロジェクトが選ばれたことが特徴です。

| | |
|---|---|
| <p>●恵庭市立図書館 プレゼンター: 大串夏身 (昭和女子大学教授) 2002 年から始めたブックスタート事業による、「子どもが幸福になれる」街づくりを、図書館が中心となって、各世代が関わる全市民的な読書振興活動として進めている点が評価されました。 住所: 北海道恵庭市恵み野西 5 丁目 10-2 電話: 0123-37-2181</p> | <p>●ジュンク堂書店池袋本店 プレゼンター: 柳与志夫 (国立国会図書館電子資料課長) 調べものに利用できる十分な「蔵書」があり、本に詳しい、レファレンスサービスのできる店員を擁して、講演、展示、「想」検索参加などの企画を展開している点が評価されました。 住所: 東京都豊島区南池袋 2 丁目 15-5 藤久ビル東六号館 電話: 03-5956-6111</p> |
| <p>●絵本カーニバル プレゼンター: 村井良子 (プランニング・ラボ代表) 広域的な巡回図書館活動と美術館等各種機関との連携を通じた幅広い活動によって、子どもや地域を育む「種」となる図書館のあり方を示している点が評価されました。 住所: 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学箱崎キャンパス工学部内 電話: 092-642-2111</p> | <p>●千代田区立千代田図書館 プレゼンター: 竹内比呂也 (千葉大学教授) 指定管理者制度を採用して、夜 10 時までの開館やコンシェルジュなど都心型公共図書館の新しい姿を提案している点、地元出版界・古書店・ミュージアム等とも連携した幅広い活動を展開している点が評価されました。 住所: 東京都千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 9・10F 電話: 03-5211-4289</p> |

<大賞の最終選考について>

11月26日(水)午後3時半～5時、パシフィコ横浜(横浜市みなとみらい)にて、今回決定した優秀賞4機関を対象として、最終選考を公開いたします。最終選考では、各機関についてIRIメンバーがプレゼンテーションを行い、ディスカッションを経て、審査員5名と選考会一般参加者票2票による投票によって大賞を決定します。合わせて、大賞館及び優秀館の表彰式を行います。

この最終選考会は、パシフィコ横浜で開催される第10回図書館総合展(11月26日～28日)の一環として行われます。また、優秀賞4者を対象として、総合展全体の入場者の一般投票による会場賞も別途授与されます。

「Library of the Year」は、IRIで図書館コンサルティングを担当するグループ(座長:昭和女子大学教授 大串 夏身)が中心となり、図書館など全国の知的情報資源に関わる機関を対象として授与する賞で、2006年に始まりました。

選考基準は、以下のとおりです。全国の公共図書館を総合的に評価して、ベストの図書館を決めるものではありません。

- ① 今後の公共図書館等のあり方を示唆する先進的な活動を行なっている。
- ② 公立図書館に限らず、公開された図書館的活動をしている機関、団体、活動を対象とする。
- ③ 最近の1～3年間程度の活動を評価対象期間とする。

第1回の"Library of the Year 2006"は、鳥取県立図書館が受賞しました。県全域を対象として、学校、企業、公的機関など様々な県内の機関と連携しながら、地域に関わって活動することにより、地域の役に立つ図書館をめざす、というこれからの図書館のあり方を示した点を評価しました。

Ref. <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=46587>

第2回の"Library of the Year 2007"は、愛荘町立愛知川図書館が受賞しました。図書館員がそれぞれの専門分野を持ち、町づくりに積極的に関わっている点を評価しました。

Ref.

<http://www.kyoto-np.co.jp/article.php?mid=P2007121600049&gnre=K1&area=S20>

また、最終選考会に先立ち、午後1時より記念シンポジウムを開催します。これからの公共図書館のあり方を様々な観点から論じていただきます。講師は以下のとおりです。

第1部 記念シンポジウム『図書館と街とランガナタン』

13:00～15:00

◆ 図書館から始まるドイツのまちづくり

赤池学氏 ((株)ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)

◆ 漂流する公共図書館、作りっぱなしでいいのか

片山善博氏 (慶應義塾大学 教授)

◆ ランガナタンの生まれた村で考えたこと

山田真美氏 (作家 / 日印芸術研究所 言語センター長)

※ファシリテーター: 高山正也 (IRI 代表理事 / 国立公文書館 理事)

詳細は、NPO 知的情報資源イニシアチブ・ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.iri-net.org/loy/loy2008.html>

■ お問い合わせ先 木谷真貴 (IRI 事務局長) info@iri-net.org

田村俊作 (IRI 選考グループ座長代理、慶應義塾大学 教授)

03-5427-1222